

ものがたりの世界に ふれよう

	12月20日(土)	12月21日(日)
10:00		
11:00		
12:00	ブック フェア 【多目的室】 11:00 ～ 17:00	ブック フェア 【多目的室】 11:00 ～ 17:00
13:00	キッチン カー 【広場】 11:00 ～ 16:00	キッチン カー 【広場】 11:00 ～ 16:00
14:00	ガイド ツアー 【外】 10:00 ～ 12:30	ガイド ツアー 【外】 10:00 ～ 12:30
15:00	トーク イベント 【多目的室】 13:00 ～ 14:30	トーク イベント 【多目的室】 13:00 ～ 14:30
16:00	記念館 講座 【集会室】 15:00 ～ 16:30	演劇 公演 【ホール】 15:00 ～ 16:30
17:00		

キッチンカー at 広場

“ものがたり”の世界にふれる合間にほっと一息！
軽食やスイーツが楽しめるキッチンカーが出店予定です。

【日時】12月20日(土)・21日(日) 各日11:00～16:00

【会場】広場



ガイドツアー at 大森エリア

文士村の足跡をたどり、“ものがたり”の世界をより深めよう！演劇公演の上演作品、浜田廣介とゆかりのある文士を中心に、馬込文士村を巡ります！

馬込文士村散策

～浜田廣介と同時代をすごした文士達の足跡を辿って～

【日時】12月20日(土)・21日(日) 各日10:00～12:30

【会場】大森エリア

(集合:大森駅西口 文士村案内板前、解散:大田文化の森)

※コース詳細は申込サイト等でご確認ください。

【料金】300円(保険料を含む)

【定員】各日30名 ※事前申込制。先着順。11/1(土)～12/18(木)必着。



大田文化の森

〒143-0024 大田区中央2-10-1 【TEL】03-3772-0700

交通アクセス

JR京浜東北線「大森駅」西口から東急バス「池上方面」行で「大田文化の森」下車徒歩1分
東急池上線「池上駅」から東急バス「大森方面」行で「大田文化の森」下車徒歩1分



【お問合せ】公益財団法人大田区文化振興協会 文化芸術振興課

TEL:03-3750-1614 (10:00～17:00 ※土日祝を除く)



泣いた赤おに

りゅうの目のなみだ

さるかに

2025年

12月20日(土)21日(日)

※各イベントにより開催時間は異なります

【会場】大田文化の森

※会場アクセスは裏面参照

【主催】公益財団法人 大田区文化振興協会

f magomebunshi ENGEKI ota_bunka otabunkaart
大田区文化振興協会 大田区文化振興協会

大田文化の森を会場に、「馬込文士村」をテーマにした、演劇、トークイベント、ブックフェア、記念館講座など様々なイベントを開催します！

大田文化の森でまるっと1日“文学”×“演劇”を楽しみましょう！

【共催】大田区 【後援】特定非営利活動法人 大田まちづくり芸術支援協会(asca)
【協力】劇団 山の事柄情社、葉々社、一般社団法人 大田観光協会、特定非営利活動法人 馬込文士村継承会
特定非営利活動法人 大森まちづくりカフェ、馬込文士村ガイドの会、浜田広介記念館
【イラスト】光嶋フーパイ 【デザイン】明里笑店LLC.

演劇公演 at ホール

演劇で“ものがたり”の世界にふれてみませんか？

誰もが一度はふれたことがある日本の童話を演劇にしてお届けします！今回は、文士たちとも交流があり、同時期に大田区に居住した童話作家・浜田廣介の3作品です。観劇前には、お芝居をもっと楽しむための実演講座も開催！

【日時】12月20日(土)・21日(日) 各日15:00開演(14:30開場)
【会場】ホール(1階ホール棟)
【料金】全席指定(税込)／各日 一般2,500円 中学生以下1,000円
※4歳以上入場可
【出演】劇団 山の手事情社、清水 宏

●チケット発売日:

【オンライン】

9月12日(金)12:00～(24時間対応)
<https://www.ota-bunka.or.jp/>



※手数料がかかります。
※発売日から公演前日19:00までご予約いただけます(残席がある場合)。

【専用電話】

9月17日(水)10:00～

【チケットセンター】

TEL:03-3750-1555(10:00-19:00)

※大田区民プラザ休館日を除く。

【窓口】

9月18日(木)10:00～

下記3館にて販売いたします。(10:00-19:00)

※各施設休館日を除く。

- ・大田文化の森(大田区中央2-10-1)
- ・大田区民ホール・アプリコ(大田区蒲田5-37-3)
- ・大田区民プラザ(大田区下丸子3-1-3)

上演作品

実演講座と次の3作品を上演します。各日同じ内容です。



『泣いた赤おに』

(著:浜田廣介)

【出演】清水 宏

【監修】安田雅弘 小笠原くみこ

【あらすじ】やさしい赤鬼は人間と友達になりたいと願っていました。親友の青鬼がやってきて、自分が悪者になって暴れて、赤鬼が良い鬼だと認められるようにしようと提案しました。おかげで村人とすっかり仲良くなった赤鬼がある日、青鬼の家を訪ねます。



『りゅうの目のなみだ』

(著:浜田廣介)

【構成・演出】小笠原くみこ

【出演】山口笑美 安部みはる 松永明子
渡辺可奈子 喜多京香

【監修】安田雅弘

【あらすじ】誰もが恐れる龍を、ちっとも怖がらないこどもがいました。こどもは自分の誕生日に招待しようと龍を探しに出かけます。人間から一度も優しい言葉をかけられたことのなかった龍は、こどものやさしい言葉に心を動かされ、ある決意をします。



『さるかに』

(著:浜田廣介)

【構成・演出】川村 岳

【出演】越谷真美 谷 洋介 高島領也
有村友花 鍵山大和

【監修】安田雅弘

【あらすじ】カニは自分が育てた柿の木から実を取ってもらおうと、サルにお願いしました。ところがサルは美味しい柿をひとりじめして、カニに怪我をさせて行ってしまう。子ガニは怒って、栗や蜂たちと復讐をくわだてます。

プロフィール



劇団 山の手事情社 [げきだん やまのてじょうしや]

1984年、早稲田大学演劇研究会を母体に結成。以来、一貫して「演劇にしかできないこと」を追求する、実験的な作劇を展開。1993年・1994年には“下丸子[演劇]ふえすた”に参加し、現代演劇を代表する舞台芸術集団として発展。1997年より現代人を制約された動きで表現する《四畳半》という演技様式に取り組み、近年海外での公演も多い。2013年に専用の稽古場及び事務所を大田区に移転。地域との連携も積極的に実施。代表作は、「テンベスト」「タイタス・アンドロニカス」「オイディプス王」「道成寺」「傾城反魂香」など。



清水 宏 [しみず ひろし]

スタンダップコメディアン・俳優

80～90年代にかけて劇団 山の手事情社に在籍し、中心的俳優として活躍。2022年、2023年、2025年に新宿・下北沢にて、スタンダップコメディフェスティバルを開催。国内はもちろん、エジンバラフリンジフェスティバル、北米フリンジフェスティバルをはじめ、中国、ロシアなど、現地の言葉でコメディを敢行し、世界中をハイテンションと大汗で笑いに巻き込んでいる。

作家紹介



(浜田広介記念館提供)

浜田廣介

[はまだ ひろすけ]

(童話作家) 1893-1973

山形県に生まれる。早稲田大学英文科卒業後、コドモ社入社。1920(大正9)年、コドモ社を退社。1921(大正10)年、最初の童話集『棕島の夢』新生社より刊行。1923(大正12)年、「黒いきりぎりし」「龍の目の涙」を発表。実業之日本社で「幼年之友」の編集をするが、関東大震災を機に退社。以後、文筆一本で生きる決意をする。1933(昭和8)年、「泣いた赤おに」を書く。1955(昭和30)年、日本児童文芸家協会の初代理事長に推される。10年後会長となる。

【大田区在任期間】

昭和4年(1929)／36歳 ～ 昭和47年(1973)／80歳

馬込文士村とは？

現在の馬込大森一帯の地域は、大正から昭和にかけて、近代文学を代表する名だたる作家や芸術家達が集まり一時期を過ごしました。後に往時を偲び「馬込文士村」と呼ばれるようになりました。

OTA アート・プロジェクト

“アートでまちづくり”をテーマに大田区に点在するさまざまな文化芸術に関わるヒト・モノ・コトを資源として紹介し、未来に向けて新たに共創していくための創造プロジェクトです。

ブックフェア & トークイベント at 多目的室



実際に手に取って、聴いて“ものがたり”の世界にふれてみよう！

大田区内にお店をかまえる本屋をはじめ、こだわりやコンセプトをもった魅力的な本屋が、文化の森に大集合！「馬込文士村」に関連した本をはじめ、普段は出会わない新しい本との出会いもあるかも!? トークイベントには、大田区在任翻訳家と、かつて大森に存在した古本屋「山王書房」の店主のご子息が登場します。

■トークイベント

【定員】各日40名 ※当日直接会場へお越しください。先着順。各日12:40～受付開始。
【出演】

12月20日(土)	12月21日(日)
-----------	-----------



柴田元幸
(翻訳家)
©島袋里美



関口直人
(昔日の客店主)



島田潤一郎
(夏葉社代表)

■ブックフェア

出店店舗

【12月20日(土)】

- ・葉々社(本屋)
- ・まっちゃねこのおみせ(雑貨)
- ・藤乃屋書店(本屋)
- ・いそぶ社(出版社)
- ・本屋・生活綴方(本屋)
- ・灯光舎(出版社)
- ・電燈／風の間(本屋)
- ・Maya Books(古本)
- ・旅する茶屋(お茶)
- ・仙六屋(コーヒー)

【12月21日(日)】

- ・葉々社(本屋)
- ・タバネルブックス(本屋)
- ・あんず文庫(本屋)
- ・ナナロク社(出版社)
- ・百万年書房(出版社)
- ・夏葉社(出版社)
- ・樺ブックス(出版社)
- ・本さんの本棚(古本)
- ・旅する茶屋(お茶)
- ・Cove Coffee Roasters(コーヒー)

【日時】ブックフェア:12月20日(土)・21日(日) 各日11:00～17:00
トークイベント:12月20日(土)・21日(日) 各日13:00～14:30

【会場】多目的室(5階) 【料金】無料

記念館講座 at 集会室



生涯、華のある人として注目を浴びた千代(国立国会図書館蔵)

第1回記念館講座
「尾崎士郎と宇野千代が語る
馬込文士村の人々」



“ものがたり”を書いた人物に迫る！
小説家・宇野千代は、小説家・尾崎士郎とともに馬込文士村の中心人物の一人でした。二人の視点から、詩人・萩原朔太郎や小説家・川端康成など馬込文士村の交流をご案内します。

【日時】12月20日(土)15:00～16:30
【会場】第3・4集会室(4階)
【料金】無料
【講師】大田区立尾崎士郎記念館学芸員
【定員】50名(定員を超えた場合は、抽選)
※事前申込制。9/25(木)～12/5(金)必着。